生き延びた少年

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 昨日　また過ちを　やってしまった　俺は全てに冷め　死ぬことに決めた

でも　家族全員が　俺を担ぎ出し　病院のベッドの上　息をしていた

昼に　寝すぎたせいか　目が冴えちまった　夜中眠れずに　カードのテレビを見てた

ぼんやりと　過ぎてゆく　時間の中で

思ってたのは　こんなことしなきゃ　よかった…

2、 自然の流れに　逆らっちゃいけない　いったい俺は　何を早まったのか

まず父が笑い　母が泣き　夢が逝き　愛のために　俺がくたばれば…

時間が　経つのが　あまりに長かった　一人の時間が　あまりに　寂しかった

ナースコールで来る　看護師さんの言葉が

あまりに　優しく　親切だった…

青春　～生きる意味は生きる事～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、　Oh－　青春 俺は孤独の中で　いろんな答えを描いてくれんだね

Oh－青春 それは果敢ないドラマ　いろんな何かを現してくれんだね

今がなくても　夢がある　それを信じて　それを信じて

生きる意味は生きること　生きる意味は生きること

生きる意味は生きること　それが答えだ！

2、　Oh－夕暮れ それは むかし 神社を　見つめながら涙を零した

Oh－夕暮れ 君は あの時の僕が　見ていたものと　同じ物なのか

過去がなくても　今がある　明日もあるし　未来もあるし

生きる意味は生きること　生きる意味は生きること

生きる意味は生きること　Oh－　year　それが答えだ！

それが答えだ！

立川の街

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

ああ　立川　俺はこの場所で夢を見た
君という　人に出逢えたこと

１．喜びのある街で　真実のある街で　ずっと君を抱きしめた
信じあったあの愛も　語り合ったその場所も　きっとあのままだよ
新しいこの世界へ Sky for you

僕はむかし自分さえ　コントロールできぬまま　嘘笑いでごまかした
どうやって生きればいいか　どうやって話せばいいか　わからなかったよ
最高の人格へ　Sky for you

ああ　立川　俺はこの場所で夢を見た
愛という　くちびるの想いに...

２、世界の大統領が　いわゆる政治家達が　慌ただしく活動している
ニュースを少しチェック　そこまで嫌いではない　目的はスポーツ
今日　俺が話したのは大家さんだけ

ああ 立川　俺はこの場所に現れた
あの頃のことを　ちゃんと想い出す為 Oh－

ああ 立川　俺は決して忘れないけど
愛の唄を 少し想い出して...

EVER　～薔薇～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 お別れなのか 愛しい君のこと
このまま　終わったら 僕はどうなる
幸せなのか 夢を失っても
このまま 終わったら 何思うの

景色としてならば 雪が降ればいいな
本当に降れば 長靴が面倒
傘も差すだろうし スーパーへも大変
コーヒーこぼしたら 大変だよ

私を包んで 夢を見せて 小さな その手で 世界を変えるの
どんなに 寂しい 恋愛でも 負けずに 立ち上がり
あなたへ届けるの　wow ...

2、 気まぐれなのか 愛の囁きに
実は 見て見ぬふりをして 泣いてた
過去の想い出は 少しずつ捨てよう
楽しい現実（いま）だけで　十分だよ

優しい 優しい あなただから　生まれも 育ちも 煤けて見えるわ
どんなに　誰かに　憧れても　自分の　人生を　生き抜けばいいから
訴えている...

逞しさ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 通りゆく　その海の　逞しさ　凄いさ
何気なく　そのことを　思ってみた

初めから　解っていた　自分には　なんにも　ないってこと
だからこそ　歌うのだ　笑ってる　俺が欲しい...

自分の夢を　見つけよう　激しく今を　生き抜こう
楽しく生きて行かないと　損する世界だ

変わらずに　今を貫こう　ささやかに　愛を差し出そう
何かに紛れて　生きなきゃ
損する世界だから…

2、 最近は　満天の　星空を　見ないな
夜は　外出を　しないからか

お酒も　タバコも　ギャンブルも　運転も
しないのが正解か　自分で決めればいい…

明るい明日　見つけよう　闘う自分　信じよう
外出は苦手だけれど　太陽の出番
時代は変わってゆくだろう　想いは全部消えるだろう
全てが進化していても　俺は生きてゆくから…

傷が痛む

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

傷が痛む　強く痛む　忘れないよ　この痛みは
感情の中で　純情の中で　君のことだけを　抱きしめてたい…

１、Go の合図で飛びついた　嵐のような心を
Go の合図で叱られながら　走ったあの場所を
Go の合図で笑われても　蹴散らしたその頃を
Go の合図で無酸素状態でも　歩いたことを…

風が纏（まと）う　コートから　マフラーを　取り出しながら
首にかけて　両手拡げ　人目など気にせず　唾を吐いた…

２、無意識のうち　俺　疲れ切ってしまったのかも
出来る範囲で　この作業も打ち切ろうとしようか
途中にしてた　あの番組もチェックしておこう
腰の痛みは　背筋の運動でなんとかなる

俺が笑う　君が笑う　君を壊したくはないさ
箪笥の中で　寝ててくれ　こんなことを言えば　馬鹿にされちまう…

UP STEP FALLING LOVE

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 UP STEP FALLING LOVE
UP　輝く未来に瞬（またた）く　wow ...
この夢がいつまでも　冷めないように

UP STEP FALLING LOVE
UP 見つめる世界に信じる　wow ...
この愛がいつの日か　届きますように

青く光る街に　僕一人　恋を探しに来た　君と共に
ずっと信じるから　傍にいて　２人旅に出よう　遠くまで
wow ...　見えたのは流れ星
wow ...　いつまでも離れない

２、UP STEP FALLING LOVE
UP 口づけたいのにできない　wow ...
泣いたり　わめいたり　思い出したくない

赤いランプたちに　やられそう　間に合うのかと　問いかける
真実は１つ　叶うかどうか　出逢えるその日々を　待っていた
wow ... 流れてくる　速いリズム
wow ... 愛している　わかってくれ
Ah－

私は８時に帰ってくる

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 乱れた髪と　黒縁メガネ　汚れている靴　シワクチャ背広
何が幸せ　何が欲しいか　あなたの声で　聴かせてほしい

こんな暗い人生　そんな深い運命　こんな 淡い人生は　もう辞めだ

AH－　必ず

私は８時に帰ってくる　頼りにならないその言葉
その愛も　その夢も　ごめんなさい
私は８時に帰ってくる　どうにもならないその誘い
その声も　その人も　ごめんなさい…

2、 疲れた体　ソファーに預け　今日も１日　お疲れ様です

時は消えない　醒める予感がする　愛しの君への元へと　さらば

AH－　今すぐ

私は自由な鳥になる　絶体絶命な気持ちに
ピリオド　つけて明日から　羽ばたくよ
あれから人生迷ったけど　心の優しい人たちに
救われて　辿り着いた　自由の道…

今はただ、これで生きる　自分の道…
誘われて　辿り着いた　慕情の鳥…

ガラクタの町

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 ガラクタがすべてなのかい？　ガラクタがすべてなのかい？
どこ見てもみんな大人は　ガラクタが　ガラクタが　ガラクタはって言う！
俺にはそれが嫌なのさ　そんな決まりきったような人生は！

２、仕事がすべてなのかい？　仕事がすべてなのかい？

どこ見てもみんな大人は　働けと　働けと　働けって言う！
そんなのはいい加減卒業さ　くだらないお前らの講義など！

３、お見合いがすべてなのかい？　お見合いがすべてなのかい？
どこ見てもみんな大人は　お見合いを　お見合いを　お見合いをしろと言う！
建前がいつも先に来てる　お望みなら俺を愛してくれ！

４、生きるのがすべてなのかい？　生きるのがすべてなのかい？
どこ見てもみんな大人は　生きようと　生きようと　生きようって言う！
もちろん死んではいけないさ　生きて栄光を勝ち取ろう！
生きて栄光を勝ち取ろう！
生きて栄光を勝ち取ろう！

二子玉川花火大会の唄、１９９９年

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 歩いてる　人々の　喋る声が　聴こえてくる
歩いてる　みんなの　笑う声が　聴こえてくる

二子玉川園の　年に１度の花火大会

青と灰の自転車を走らせ　僕らは現地へ向かった
自転車を止めて辿り着くと　そこには人がいっぱい
ビー玉ソーダとフランクフルトで　準備はもう完了
いよいよ花火大会が始まる　Oh－

ドカーン！　ドカーン！　と　打ちあがって
ドカーン！　ドカーン！　と　打ちあがって
パラパラ！　パラパラ！　と　綺麗に舞って
パラパラ！　パラパラ！　と　綺麗に舞って

夏が終わった。たった１度の。夢が終わった。愛が終わった。

2、 帰り際　人々の　賑やかさが　感じられる
ソワソワと　まだ味わっていたい　余韻が　感じられる

街はざわついている　僕もざわついている一人

自分も若者だけれど　若者達がやけに目に付く
今日くらいは夜中の果てまで　盛り上がってたいのだろう
あんな綺麗な人達が　ゲーセン（ゲームセンター）に入ってほしくないけど
これも時代かと考えていた　Oh－

ドカーン！　ドカーン！　と　打ちあがって
ドカーン！　ドカーン！　と　打ちあがって
パラパラ！　パラパラ！　と　綺麗に舞って
パラパラ！　パラパラ！　と　綺麗に舞って

夏が終わった。たった１度の。夢が終わった。愛が終わった。

多摩川

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 よく晴れた休日の午後　友と多摩川に行こうと決めた。
青と灰の自転車を適当に走らせて　気がつけば川が見えた。
眺めのいい場所探して　そこで自転車乗り捨てて、
石垣に寝そべり　滝の音に目を閉じた。

哀しげに釣り人が魚を待っていた　隣では青年が溜息をついていた。
遠くではおじいさんが橋を渡っていた　友人は柵越しで川に見とれていた。
幸せそうな４人の家族が現れて　２人の子供が草の上を走りまわってた。
俺はただその姿をじっとただ見つめたまま　いつの日の自分の姿に重ねていた。

Woo－　多摩川よ　この川がこんなにも美しい場所だとは。
Woo－　知らなかったよ　あまりにも美しくて　あまりにも楽しい　多摩川。

2、 のんびりと柵に寄りかかり　雄大な景色をもう一度眺めた。
川は何故、下流へとただただひた走るのか　何故、そんなに真っ直ぐなのか。
悩むことを知らない　俺とはまるで正反対だ。
川を見つめた心で　川に向かい問いかけた。

「先生、多摩川先生、あなたは何千年も生き、私はまだ１７歳かもしれない。
でも俺だって頑張っているんです。あなたの姿に追いつきたくて頑張っています。

何故、黙っているのですか？何故、黙っているのですか？
必ず、あなたに恥じないように、ここへ戻ってきます」。
「悩んでいるようなヒマがあったら進みなさい」　あなたはそう言いたいのか？

地に生えた雑草を力強くちぎり取り　今までを殺したくて川へと投げ捨てた。

Woo－　多摩川よ　この川がこんなにも美しい場所だとは、
Woo－　知らなかったよ　あまりにも勇ましくて　あまりにも勇敢な　多摩川。

3、 帰り際に見えた物、バーベキューに湧く社会人の平凡な笑顔。
ボール探す野球少年　回るバイクの教習所。
街は人達で溢れている　その中をかき分けながら、
女性達のみだらな姿に　なんだか愚痴ってしまった…

７年前　この場所で２万円を落とした　札のまんまポケットに入れてたら落とした。
今でも札のまんまポケットに入れたりする　ハングリー精神が俺には育たなかった…
９年前　この場所でテニスを習っていた　今ではこの場所は噴水の公園になってた。
そんなこと話しながら　友と笑い話しながら、
いつの日かこの場所に来ようと語った。

Woo－　多摩川よ　この川がこんなにも美しい場所だとは。
Woo－　知らなかったよ　あまりにも煌（きら）びやかで
あまりにも騒がしくて　あまりにも尊い　多摩川。

世界は終わりそうになった　～殺されそうになったことも～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 行かないで　行かないで　胸が激しく痛むんだ
泣かないで　泣かないで　声が苦しいから
帰ろうと　帰ろうと　僕は何度もしたんだ
行かせない　許せない　この気持ち　Oh－
世界は終わりそうになった　超でっかい怪獣に食われそうになった…

殺されそうになったことも　挫けそうになった過去も
でも忘れない　でも信じない　だって
それが　今世紀最大の　答えだったから
LAAA…　Yu a monster
LAAA…　Yu a monster DAY！

２、真実は　真実は　自分のことを信じて
逃げないで　逃げないで　俺がついているから
いつまでも　いつまでも　傍にいると誓った
情けない　やるせない　姿でも　Oh－
今世紀最大の凄く怖い夢だった　ビックリする凄い怖い夢だった…

信じていた愛も　絶望の恋も
忘れたくない　憶えている
それが　最低限の　礼儀だったから
LAAA…　Yu a monster
LAAA…　Yu a monster DAY！